

2025年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試(C日程)

政治・経済

全学部 全学科

◎問題用紙 2枚
◎解答用紙 1枚

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

政治・経済

第1問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

日本国憲法は、(a) 国民主権原理のもと、国会を国権の最高機関とし、唯一の（ 1 ）と位置付けている。
(b) 国会は、衆議院と参議院の二院制をとる。両議院の一致した意見が国会の議決となるため、衆議院と参議院との議決が異なった場合には、（ 2 ）を開催し意見調整がなされる。ただし、法律案や予算の議決などは最終的には(c) 衆議院の優越が定められている。国の年間の予算は、（ 3 ）が作成し、国会が議決する。また、予算の中心となる租税の徴収は、（ 4 ）に基づかなければならない。国会の会議のうち、常会は毎年1回1月に召集され、会期は（ 5 ）日である。その他の会議として臨時会、(d) 特別会、参議院の緊急集会がある。

民主政治のもとで有権者は自らの考えを政治に反映させるため、選挙において代表を選出する。衆議院の選挙制度は、1994年にそれまでの中選挙区制にかわって(e) 小選挙区比例代表並立制が導入された。選挙制度変更の背景には、政権交代のない利益誘導型の政治から生じた政治腐敗があった。この政治腐敗の問題に対処するため、選挙制度の変更のほかには、（ 6 ）の改正により政治家個人への企業団体献金を禁止した。また、選挙運動における禁止事項を定める（ 7 ）も改正され、選挙運動の統括主宰者や出納責任者が買収などの選挙犯罪で刑に処せられたとき、候補者の当選も無効となるなど（ 8 ）が強化された。こうした規制にもかかわらず、選挙活動における買収や供応などの腐敗が後を絶たない。

問1 文中の（ 1 ）～（ 8 ）に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

国会法	幫助制	両院協議会	国会議員	法律	100
連座制	行政機関	裁判所	国家公務員倫理法	条例	150
立法機関	政治資金規正法	委員会	本会議	政党助成法	200
国会議員法	司法機関	内閣	公職選挙法	政令	共犯制

問2 下線部（a）について、国民主権に基づく民主政治の原理を示した「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を、1863年11月にゲティスバーグの演説で述べたアメリカ大統領の名前を答えなさい。

問3 下線部（b）について、二院制がとられる理由を簡潔に説明しなさい。

問4 下線部（c）について、どのような理由により衆議院を優越させていると考えられるか、簡潔に説明しなさい。

問5 下線部（d）とは、どのような場合に開かれる国会か、簡潔に説明しなさい。

問6 下線部（e）について、①小選挙区制と比例代表制とでは死票が少なくなるのはどちらか答えなさい。②比例代表制の議席の配分方法を簡潔に説明しなさい。

第2問 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

中小企業とは、(a) 中小企業基本法(1999年改正)により、資本金や従業員数が一定の値以下の企業のことをいう。2020年度版『中小企業白書』によると、2016年の日本の中小企業数は約358万社であり、全企業のうちの(1)%を占める。また、中小企業で働く従業員数はおよそ3,220万人であり、全体のうちの(2)%を占める。このように日本には非常に多くの中小企業が存在している。しかし、中小企業と大企業の間には労働条件や生産性、そして従業員の賃金などにおいて大きな格差があり、これは日本経済の(3)などとよばれた。中小企業は大企業の系列子会社になったり、また(4)として日本の生産活動を支えてきたが、景気変動による影響を受けやすく、特に不況期には大企業から取引単価引き下げを迫られて倒産する企業も多かった。また近年では、中小企業の経営者の高齢化により、黒字企業であっても後継者や人材不足の問題が取りざたされており、(b) M&Aを通じた事業継承が進んでいる。

経済のグローバル化は中小企業に様々な面で影響を与えている。プラザ合意以降の(5)は、輸出製品を生産している地場産業や大企業傘下の中小企業にとって大きな痛手となった。また、欧米諸国との間の経済摩擦により市場開放が迫られ、安い外国製品が市場に流通することで国内市場における競争は激化した。さらに近年の情報化により市場は急激に変化しているが、変化に対応できず(6)への投資が遅れる中小企業も多い。しかしその一方で、技術力を生かして新しい商品やサービスを開発し、新市場の開拓を目指す(7)や、(c) ニッチ市場において商業機会を見出す中小企業も増加傾向にあり、グローバル化の中に新たなチャンスも生まれている。

問1 文中の(1)～(7)に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

大量生産	株安	I C T	99	円安	プラットフォーム企業
親会社	円高	85	多国籍企業	独立会社	国債購入
ベンチャー企業	30	55	屋台骨	広告	債権安
マーケティング	二重構造	株式会社	47	下請け	69

- 問2 下線部(a)について、誤って説明されているものを以下のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 製造業では、従業員が300名以下、または資本金3億円以下の事業者を中小企業という。
 - イ. 製造業・宿泊業・娯楽業で従業員数300名以下、またはその他の商事・サービス業で50名以下の事業者を小規模企業とよぶ。
 - ウ. 小売業・飲食店では、従業員が50名以下、または資本金が5,000万円以下の事業者を中小企業という。
 - エ. 卸売業では従業員が100名以下、または資本金が1億円以下の事業者を中小企業という。

問3 下線部(b)について、これを日本語で何とよぶか、答えなさい。

問4 下線部(c)の「ニッチ市場」とはどういう市場のことを指すか、具体例を交えて簡潔に答えなさい。

問5 近年、フリーランスのような働き方が増加傾向にあるが、その理由について考えられることを簡潔に答えなさい。